

香川大学工学部・大学院工学研究科とかがわ産業支援財団 地域産業や教育の課題解決で協定締結！

香川大学工学部と公益財団法人かがわ産業支援財団とは、相互の連携・協力を強化し、地域産業の発展に資するため、地域産業や教育に関する連携・協力協定を締結します。これまでに財団主催の展示商談会等への出展やセミナー・技術討論会等の開催などで協力して取り組んできた実績があり、協定締結によりこれらをさらに発展させ、それぞれが有する人的・知的・物的資源を連携・協力して活用することにより、地域産業の課題解決等産業振興に役立てます。

- 1 日時 平成29年3月22日(水) 16:00～17:00
- 2 場所 香川産業頭脳化センタービル1階 第1会議室 (高松市林町2217-15)
- 3 出席者 国立大学法人香川大学工学部 学部長 中西 俊介
公益財団法人かがわ産業支援財団 理事長 大津 佳裕

4 協定書調印式次第

- (1)開会
- (2)あいさつ
- (3)協定書調印
- (4)閉会

5 協定締結の経緯

- (1) かがわ産業支援財団では、県内企業が行う社会環境の変化等に対応した新商品開発や販路開拓などの取り組みに対し、総合的な支援を行っています。
- (2) 香川大学工学部では、地域産業等に貢献する理工系人材育成が求められていることから、連携の要望がありました。
- (3) 両者はこれまで、産業振興に向けて、財団の企業支援ネットワークや香川大学工学部の特色ある専門的知識や技術を活かして、次のように取り組んできました。
 - ① 財団が大手企業で開催しているかがわものづくり新技術・新工法展示商談会に香川大学工学部がブースを出展して新技術の紹介を行った。
 - ② 香川大学工学部では、MEMSデバイスの研究開発に取り組んでおり、このような技術を普及・振興を図るため、財団で「微細構造デバイス研究開発フォーラム」を立ち上げ、セミナーを開催するなど産学



新技術・新工法展示商談会

官連携によるMEMS事業の創出・拡大を支援している。

- ③ 健康関連分野における香川大学工学部のシーズを活用した製品開発を促進するため、技術討論会、セミナーなどを開催するほか、最新技術、製品情報等が集まる国際的な展示会への出展機会を財団が提供し、香川大学工学部の健康関連技術、製品の紹介等を行った。
- 今後、さらにつながりを強固なものとし、連携して地域産業の発展に寄与するために協定を締結するものです。

6 今後の取り組み

協定締結により、これらの取り組みをさらに発展させて、地域産業の発展に役立つことができると考えています。

また、県内企業にとっては、香川大学工学部の学生に自社の優れた技術や製品を知ってもらう機会となり、学生にとっても県内企業への関心が高まると見込まれます。

また、財団は、地域産業の課題解決に香川大学工学部の人材や研究成果を活用することができ、香川大学工学部は研究や学生の実践の場と、産業振興に貢献する機会ができます。

今後は、連携・協力協定書に基づき、これまでの事業に加え、新たに次のような取り組みを連携・協力のもと進めてまいります。

- ① 県内企業の製品開発する際の技術相談への対応や香川大学工学部シーズの紹介
- ① 研究機器・設備の利用促進
- ① 知的財産を活用した販路開拓・拡大につながるよう、大学等の開放特許と中小企業等との知財ビジネスマッチングの開催
- ① 県内企業の第一線の経営者による講義の実施
- ① 優れた技術を持つ県内企業の工場を見学、香川大学工学部が行うインターシップの企業への周知